

NPO 京都コミュニティ放送
第74回番組審議会

開催日時：2013年4月19日（金） 14:30～16:15

会場：烏丸ビル 2F Flag 三条

出席委員：ジェフ・バーグランド 中村正 山本時子 井上恭宏

欠席委員：野池雅人 丸橋泰子 市古和弘 福井秀彦 津田正夫

局側委員：隅井孝雄 時岡浩二 町田寿二

ゲスト：ラジオ・アクセス・フォーラム 石丸次郎氏

審議番組：「ラジオ・フォーラム」

毎週日曜日 22:00-23:00 放送

◇制作者：ラジオ・アクセス・フォーラム

最初に石丸次郎氏より番組の趣旨について説明があった。この番組は「ラジオにジャーナリズムを」をテーマに、市民がスポンサーとなって放送への参加をめざし、一般社団法人「ラジオ・アクセス・フォーラム」が、運営・制作するものである。

2013年3月31日及び24日の放送番組を試聴し審議に入った。

審議委員からのコメントなど（要約）：

- ・ ゲストの話はおもしろい。
- ・ 京都大学の小出裕章助教は京都に馴染みがあり、毎週お話が聴けるのが良い。
- ・ パーソナリティーの関西弁が良い。標準語より親しみが持てる。
- ・ 良い番組に出会ったと思う。
- ・ シリア内戦現地の取材音声は貴重な素材であり番組に有効に使われている。ラジオは想像するメディアであり、番組中のスポット音声は重要である。
- ・ 取材するのはなかなか大変ではないかと思う。
（石丸氏からは、取材はできるだけ若い人に担当してもらい、若手のジャーナリストの養成につなげたいとの発言があった。）
- ・ 橋本大阪市長への単独インタビュー特集ではリスナーからの賛否両論が寄せられたと石丸氏から説明があり、ラジオカフェにも「政治色が強い」と批判的なメールが1通あったことが報告された。
- ・ 橋本市長に関する番組を試聴したが、そんなに酷いことを言っているわけではないと思う。
- ・ 複数のパーソナリティーが担当しているが、この番組の編集長（受けてたつ人）がだれなのかが見えるようにしたほうが良い。編集長が見えることで、リスナーとの間により具体的な対話が生まれるのではないか。
- ・ 結論が一つではなく多様な意見が紹介されるほうが良い。パーソナリティーと取材者のギャップ、意見相違もあり議論するような場面もあるとリスナーにとっては自然だと思う。

以上で審議を終了した。

5月27日（月）13:15から「番組審議会だより」として放送した。

この審議会の議事録は5月1日から事務所に据置き閲覧できるようにした。